

『昆虫の体重測定』

月刊「たくさんのおふしぎ」 2016年4月号

吉谷昭憲文・絵 福音館書店



ヤブカに血を吸われると、痒みを感じて初めて、力が留まっていることに気がつきます。「あー、やられちゃった!」

ヤブカはほとんど重さがありませんよね。1匹は限りなく0に近い、0.0014gあるのだそうです。つまり、714匹のヤブカで

やっと1円玉（重さ1g）と釣り合うのです。テントウムシは0.05gで、切手1枚と同じ重さです。

こんなに軽い昆虫達なのに、身体にはちゃんと目や口や脚もある・・・なんてすごいんでしょう!

カブトムシは重い虫の代表ですが、幼虫の時の方がさなぎより重く、さなぎの方が成虫より2倍も重いのです。体重を比べることで、昆虫達の色々な秘密まで分かってしまいます。

(齋藤好子)



緑地の腐葉土の中で過ごすカブトムシの幼虫。大きいですよ!